

西宮市子ども読書活動推進計画

～ “本” ってすごい “本” ってたのしい～

概要版



平成 25 年 (2013 年) 7 月 改定

西 宮 市

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）の概要

～ “本” ってすごい “本” ってたのしい～



西宮市子ども読書活動推進計画は、子どもが自然と本に向き合える環境を整備するために、市全体としてどう考えていくかを示すとともに、図書館や学校、地域、家庭などが連携しながら、読書活動を推進していくための具体的な取組みを明らかにしようと策定するものです。

対象

- ・おおむね 18 歳以下を対象としています。

基本的方針

- ・子どもの自主性を尊重します。
- ・大人が手本となるよう、理解と協力を求めます。
- ・関係機関は読書環境の整備を図ります。

子どもの読書習慣定着のための環境整備



子育て支援施設・保育所・幼稚園における読書活動の推進

(保育所、子育て総合センター、児童館・児童センター、幼稚園)

指標名	単位	現状値(H23)	目標値(H30)	指標方向
市立図書館登録団体数	団体	31	52	➡
	式	3団体×7年		
H30目標値設定理由	登録団体数、年間3団体増が目標			

図書館における読書活動の推進

- ア 楽しい読書環境づくりに向けての施設・資料整備
- イ 読書活動支援に向けたサービスの促進
- ウ 学校との連携
- エ ボランティアの育成・連携

指標名	単位	現状値(H23)	目標値(H30)	指標方向
市立図書館における児童登録者率(12歳以下)	%	35.4%	37.5%	➡
	式	図書館の児童登録者数 / 児童登録人口		
H30目標値設定理由	登録率を前年度より0.3%増として目標値を設定			

1 社会的背景

ICT(情報通信技術)の急速な発展により、子どもたちの周りには情報があふれています。子どもの読書離れが進む中、国をあげて子どもの読書活動推進に取り組んだ結果、小学生の読書量は増加しました。しかし、中学生になると読書量は減少するなど、課題が残っています。

2 読書がもたらす効果

子どもにとって本は「おもしろいから、楽しいから」読むものです。しかし、楽しみながら読むうちに子どもたちは、いろいろな文章や考え方に触れ、思いやりの心を育て、困難にぶつかっても自分で考え、生き抜く力を身につけます。

3 基本的な考え方

本市においては、図書館、学校、地域、家庭などが連携して読書活動を推進してきた結果、蔵書などの環境整備は整ってきました。今後もさらに連携を強め、ボランティアなど人材の育成と活用、人と人とのつながりを大切に読書活動に取り組んでいきます。今回の改定では、平成20年に計画を策定してからの5年間の取組みを検証し、成果と課題を明らかにしました。

学校における読書活動の推進

- ア 学校における読書活動推進のための環境整備
- イ 子どもの読書習慣の確立

指標名	単位	現状値(H23)	目標値(H30)	指標方向
小学校図書館における児童一人当たりの年間貸出冊数	冊	51.7	53.0	➡
	式	貸出冊数 / 児童数		
H30目標値設定理由	週1.5冊程度の本とのふれあいを目標に設定 1.5冊×35週 53冊			

